

鹿児島市母子保健計画策定に向けた市民意識調査結果概要（抜粋）

1. 調査の目的

本調査は、「鹿児島市子ども・子育て支援事業計画（平成27～31年度）」の策定のための基礎資料とするため、アンケート方式による市民意識調査を実施した。

2. 調査期間

平成26年5月26日（月）～平成26年6月30日（月）

3. 調査の種類

(1) 小学6年生	調査件数	617件	回収件数	570件	回収率	92.4%
(2) 小学6年生保護者	調査件数	617件	回収件数	526件	回収率	85.3%
(3) 中学3年生	調査件数	635件	回収件数	573件	回収率	90.2%
(4) 中学3年生保護者	調査件数	635件	回収件数	422件	回収率	66.5%
(5) 高校3年生	調査件数	1,119件	回収件数	1,062件	回収率	94.9%
(6) 高校3年生保護者	調査件数	1,119件	回収件数	722件	回収率	64.5%
(7) 1歳6か月児保護者	調査件数	400件	回収件数	355件	回収率	88.8%
(8) 3歳児保護者	調査件数	400件	回収件数	336件	回収率	84.0%

4. 集計結果

(1) 市内の小中高校の児童・生徒とその保護者

①小学6年生・中学3年生・高校3年生（本人）

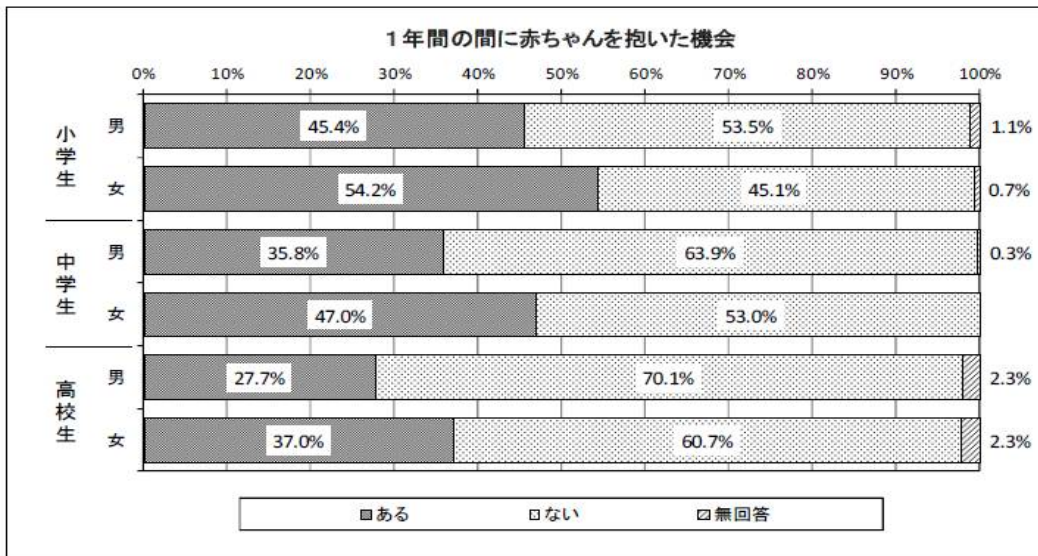
問20. この1年間に赤ちゃんを抱いたことがありますか

・この1年間に赤ちゃんを抱いたことがあるかについては、「ある」と回答した割合は小学生が高く、次いで中学生、高校生の順と、学年が上がるにつれて少なくなる傾向が見られた。

(クロス集計の結果より)

・「赤ちゃんを抱いた機会の有無と赤ちゃんを育てること」のクロス集計については、中高生では、赤ちゃんを抱いたことが「ある」と回答した人は、赤ちゃんを育てることを「楽しそう」「だいたい楽しいが大変なこともある」と回答している割合が高い。

(報告書P34～37)



②小学6年生・中学3年生・高校3年生（保護者）

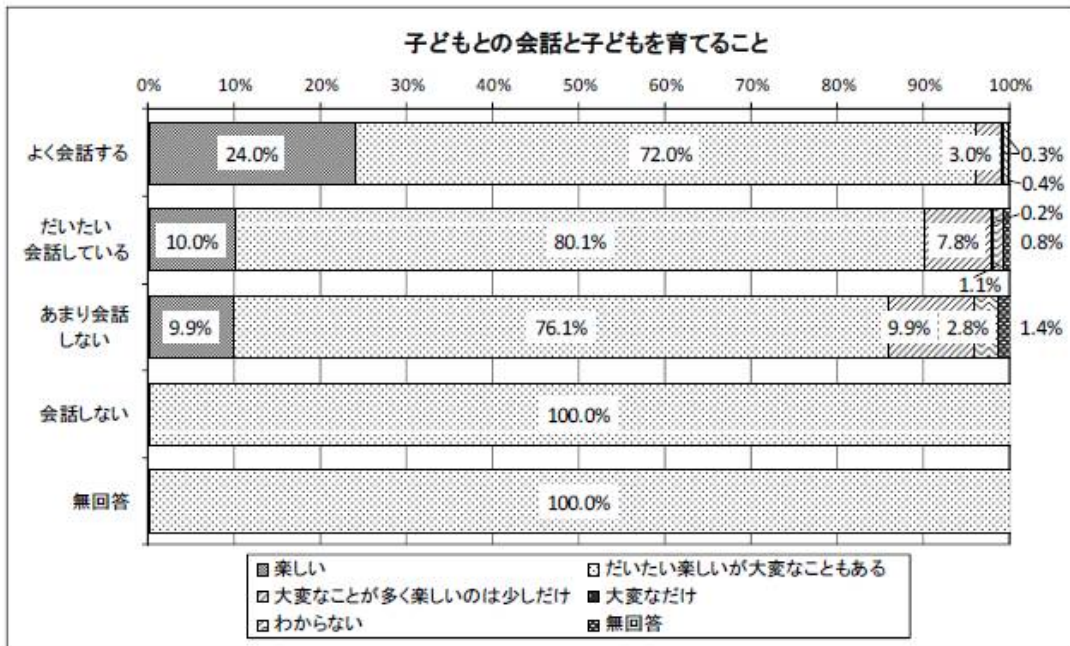
問5. お子さんと会話していますか

・子どもと会話をしているかについては、「よく会話する」が 58.6%と最も高く、次いで「だいたい会話している」が 36.9%、「あまり会話しない」が 4.3%、「会話しない」が 0.1%であった。

（クロス集計の結果より）

- ・子どもと「よく会話」すると回答した人は、普段から子どもの良いところをほめるよう「心がけている」と回答した割合や、最近子どもを「ほめた」と回答した割合が高く、会話の頻度が減っていくにつれて、良いところをほめることを「考えたことがない」、子どもを「ほめていない」と回答した人の割合が高くなっていった。
- ・また、子どもと「性」や「死」について話す機会の必要性については、「性」が7割以上、「死」が9割以上が必要だと「思う」、「どちらかというと思う」と回答しており、特に子どもと「よく会話する」と回答した割合が高いほど、「思う」と回答した割合が高い傾向が見られる。
- ・子どもを育てることについても、子どもと「よく会話する」と回答した割合が高いほど、子どもを育てることが「楽しい」と回答している割合が高く、会話の頻度が減っていくにつれて、「大変なことが多く、楽しいのは少しだけ」という回答が増えていった。

（報告書P52～56）



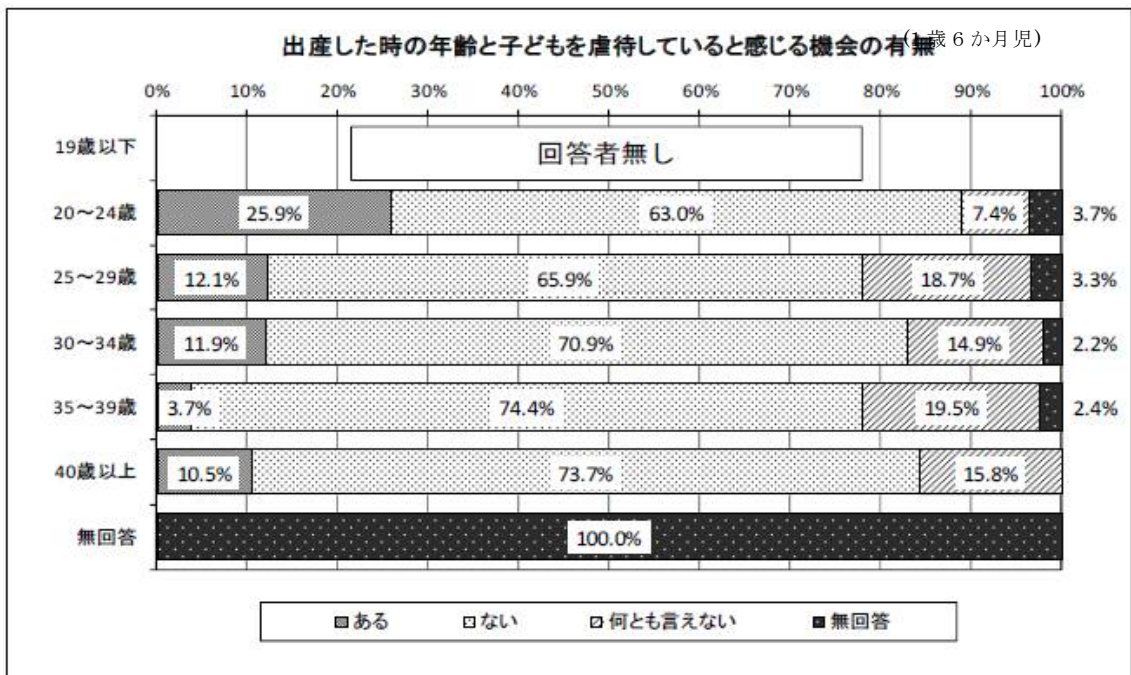
(2) 1歳6か月児及び3歳児の保護者

問9. 出産した時のお母さんの年齢はいくつでしたか

・「出産した時のお母さんの年齢はいくつだったかについては、「30～34歳」が 37.7%と最も高く、次いで、「25～29歳」が 25.6%、「35～39歳」が 23.1%、「20～24歳」が 7.6%、「40歳以上」が 5.4%であった。

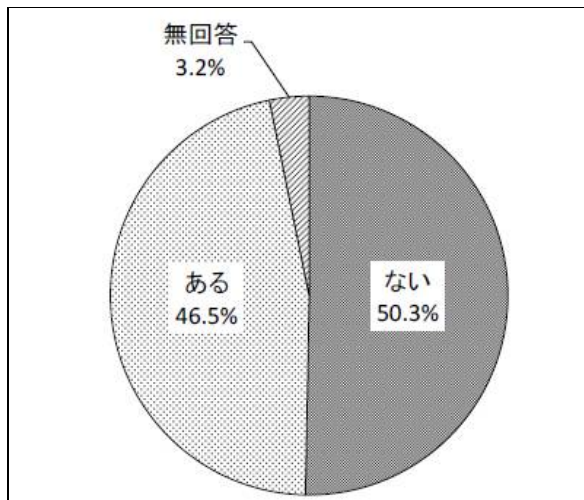
(クロス集計の結果より)

- ・妊娠が分かったときの喫煙については、20～34 歳の間で出産した人で喫煙「していた」と1割程度回答しており、年齢が上がるにつれて喫煙「していた」と答えた割合が低くなる傾向が見られる。
 - ・妊娠中に喫煙「していた」と回答した人は、20～34 歳で出産した人が 3.7～4.4%であった。
 - ・妊娠中のパートナーの喫煙については、出産した年齢が高くなるにつれて、喫煙「していなかった」と答えた割合が高くなる傾向が見られる。
 - ・子どもを虐待したと感じた事の有無については、「ある」と回答した割合は 20～24 歳が 25.9%と最も高く、「ない」と回答した割合は 35～39 歳が 74.4%と最も高かった。
- (報告書 1歳6か月児 P85～89：3歳児 P170～174)

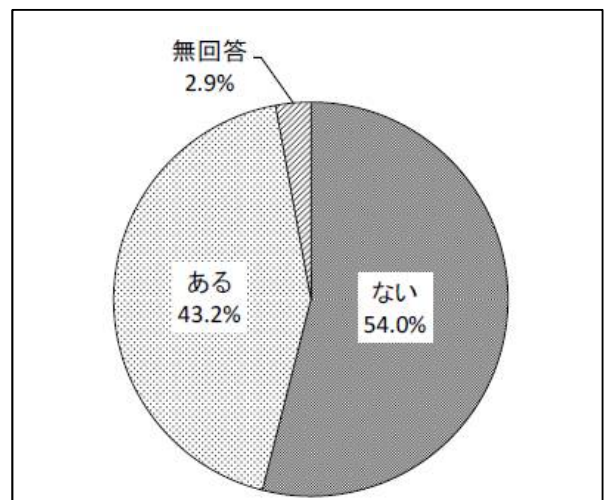


問21-1. マタニティマークの効果を感じたことがありますか

- ・マタニティマークの効果を感じたことがあるかについては、「ない」が 50.3%と高く、次いで「ある」が 46.5%であった。



(1歳6か月児)



(3歳児)

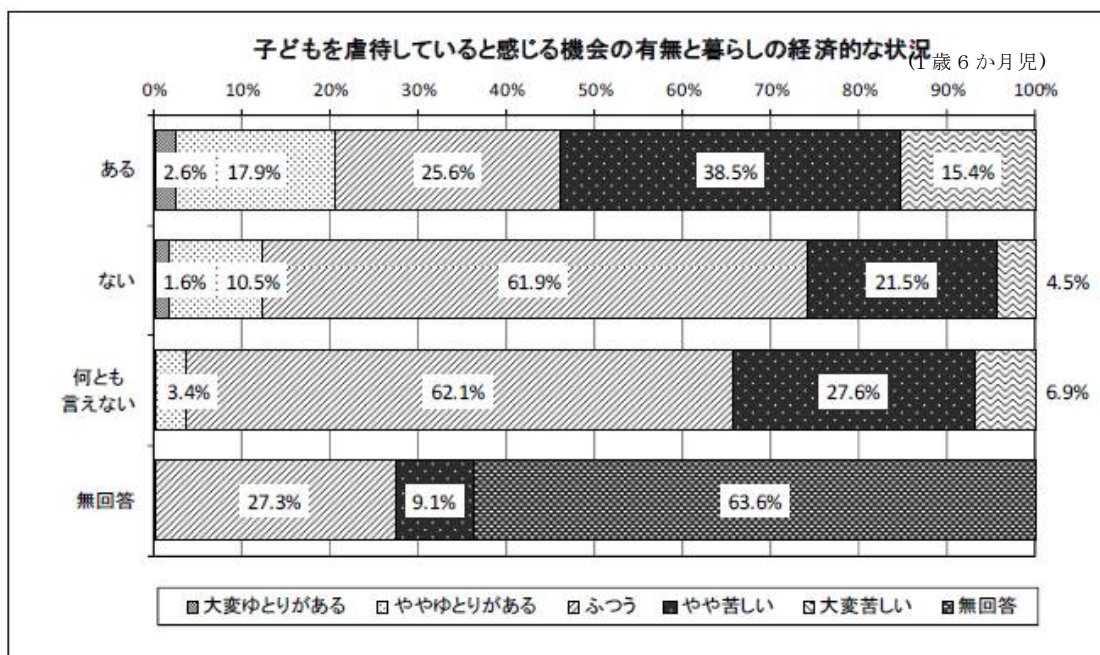
問 29. お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか

- ・お母さんは、子供を虐待しているのではないかと思う事があるかについては、「いいえ」が 69.6%と最も高く、次いで「何とも言えない」が 16.3%、「はい」が 11.0%であった。

(クロス集計の結果より)

- ・子どもを虐待していると感じる事が「ある」と回答した人は、暮らしの経済的な状況において、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせると回答した割合は5割以上と高い。
- ・子供を虐待していると感じる事が「ない」と回答した人は、夫の育児協力への満足度において、「満足している」「だいたい満足している」を合わせると回答の割合は4割以上であった。

(報告書 1歳6か月児 P130～133：3歳児 P213～216)



(3) 自由意見

①高校3年生(本人)

- ・現代の社会において「性」の若年性が問題になっている以上、これからの性教育においては「性行為しない」ではなく、「正しい避妊法」などを実施した方が現実的だと思う。中途半端な性教育では性行為への意欲をかきたてるだけである。
- ・性同一性障害やLGBT などに対する支援をして欲しい。難しいと思うけど、宜しくお願いします

②小学6年生・中学3年生・高校3年生(保護者)

- ・国や市などから補助金など。子育てに必要なお金の相談。
- ・経済的なことも大切だと思う。子育てはお金がかかります。
- ・子育ての相談がもっと身近で出来るような体制。
- ・妊娠、出産、育児と、どうしたら妊娠して子供が出来るか・・・ちゃんと分かって欲しい。

(報告書 P248～262)